

事業所名 子ども発達支援センター鶴川たんぽぽ

公表:令和5年 3 月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	50%		50%	なるべく、子どもたちが、重 ならないようにしている。	
	②	職員の配置数は適切であるか		100%		職員の担当や回数など工 夫しながらやっている。	役割分担を明確にしなが ら、事務仕事等も進めて いる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか		60%	40%		現在、対象児童がいないが、 車いすでの操作は難しい部 分がある。・玄関はバリアフ リーになっていないが非常口 にスロープがある
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設 定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	100%				子育て支援会議が開かれ、保 護者のニーズを把握してい る。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	100%				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	100%				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	100%				
適切な 支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	100%			年2回の保護者との懇談の 実施や関係機関とのケー ス会議は行い、作成してい る。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか		100%			固定されたものではなく、保 護者や児の困り感や、心理士 や保健師、関係機関の職員 と話をしながら本児の様子 を探っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	100%				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	80%	20%		長期休暇などは、課題の 進み具合やプログラムを一 緒に検討する子もいる。	

提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			その子に必要な支援を行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			子どもの様子や気づいた点を報告し合うようにしている。	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			振り返りながら、次の課題につなげて行っている。	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			年2回の保護者との懇談の実施や関係機関とのケース会議は行い、判断している。	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			その子の状況に応じて対応するようにしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか					児童の相談支援事業所までいっていない。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			会報や行事予定を把握して、療育時間に充てている。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在在籍無し。また、医療的ケアが受け入れる体制にはなっていない。	
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			教育委員会との連携し、学校への引き継ぎを行っている。	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当ケースがなかった。	
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%		専門相談事業・地域支援を活用しながら連携している。	
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			100%	平行通園の児童がほとんどであったり放課後教室に行っているケースもある。	
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか					
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者が来所できないときは、連絡帳を使い、療育の様子を伝えている。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		20%	80%		関心の向け方に工夫が必要と思われる。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	父母の会がない。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100%				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	80%			
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	20%	80%			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				職員に研修報告をする機会を作る。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			100%		対象となる児がいない
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			100%		食品の提供はないため把握していない。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20%	80%				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。